

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：魅力あるまちづくり日新 広報部会
福井市文京5丁目1-8日新公民館
発行日：平成29年(2017年)7月20日

苟日新 まこと ひ あら に日に新たに
日日新 ひ びにあらに新たに
又日新 また ひ あら にあらに新たに
出典 「大学」



7月30日「日新 ミソハギ花まつり」日新地区のシンボル底喰川の河岸で

阪井 一彦

底喰川の環境美化活動は平成10年の「底喰川クリーンアップ作戦」から本格的に始まります。今年は丁度20年を迎えました。諸先輩方のご苦勞で、夏には河川敷にミソハギが咲き誇り“福井の花”とし福井新聞で紹介されるまでになりました。これからは私たち日新区民が「底喰川の河畔・河川敷をきれいにし見守っていかねばならない」と思います。20年目の節目に当たり、7月30日にミソハギが咲き誇る時期に合わせ、「日新ミソハギ花まつり」を開催することにいたしました。底喰川の河川敷を赤紫の帯となり綺麗に咲き誇るミソハギの花をまだ見たことのない方も多いのではないのでしょうか。また、底喰川河畔の花壇も花が植栽されきれいに管理されています。

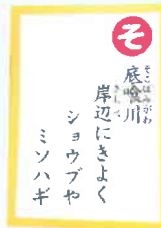


日新地区の「老若男女の皆様」底喰川河畔に是非おいでいただき、美しく咲き誇ったミソハギをご覧ください。当日は公民館駐車場で焼鳥、焼きそば、カキ氷の模擬店、

ゲーム大会、啓新高校のジャズ演奏会を行います。「さんさんバス」も無料で運行します。

夏の一日をご家族お揃いでお楽しみいただければと思います。底喰川の環境美化活動の成果をご覧になり、今後さらに底喰川周辺の環境美化への関心が高まり、活動参加者が増えるきっかけになればと期待しています。

(魅力ある まちづくり日新 実行委員会)



まちづくり文化部会を思い出そう

山崎 豊

本年三月をもちまして文化部が廃止となりさびしい限りの思いでいます。始まりは平成六年度からの「うらがまちづくり支援事業」からのスタートでした。最初のうちは現在の文化部会となる要素はありませんでした。平成十三年度から次のまちおこし事業として「夢プラン事業」がはじまります。平成十六年度には「まちづくり交流大会」が催され、わが日新地区は徳島市の川を守るNPO法人「新町川を守る会」を招いて交流大会を開きました。

そして、平成十七年度より「まちづくり日新」を立ち上げ、その中に文化部会がありました。初代部会長中西美代子氏が子どもたちの遊びに伝統的なものが失われていく現状から、ひとつでもいいから昔からの「遊び」を残して行こうとの方針でした。

また、学校が週休二日になり土曜日に有意義なことをしようとの考えで茶道、華道、将棋、囲碁の勉強会をはじめました。このスタッフの大半が文化部会の構成メンバーとなりました。他に「百人一首」かるた会、秋の七草観賞と月見だんごづくりも実行することになりました。また「まちづくり交流大会」で実施した底喰川ウォークの担当が文化部会に振られ、日新そば打ち愛好会の協力を得て毎年公民館まつり前日祭の催行を担ってきました。文化部は、昔の子ども遊びの一部を紹介してきましたが・・・やはり、残さなければならぬと思います。幸い、伝統文化の茶道・華道・将棋・囲碁は公民館事業として継続されます。





日新小学校は、今年4月に59名の一年生を迎え、全校児童279名で新学期がスタートしました。日ごろから、日新地区の皆様には様々なご支援をいただき、子どもたちが健やかに成長できますこと、厚くお礼申し上げます。さて、本年度も、子どもたちに豊かな体験活動をさせていきたいと考えています。豊かな体験活動は、「豊かな人間性、自ら学び、自ら考えるなどの生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待される」もので

あり、本校の学校教育目標とも合致しています。また、藤島中学校区教育では、目指す子どもの姿として「地域とともに歩み、未来を切り拓く子どもたち」を掲げ、地域と関わる取組みを洗い出し、地域貢献地域参画のあり方を探っていく予定です。これまで、日新公民館の「いきいきライフセミナー」の方々をはじめ、たくさんの地域の方々に「地域の先生」として、子どもたちに、日新地区の秘密や良さなどを教えていただきました。子どもたちは、このような活動を通して、日新地区への誇りを持つことができました。本年も、目指す子どもの姿の実現に向け、本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、家庭や地域と学校が連携しながら取り組んで行けますようお願いいたします。



町の文化

福井の宝「笏谷石」
に魅せられて



乾徳一丁目の近藤登幹夫さんは、平成十七年八月の足羽山陥没事故のために採掘坑道が閉鎖になった時、「福井の宝である笏谷石がもう採れなくなってしまう。子どもや孫がこの石の存在すら知らなくなってしまう。どうしてもこのシンボルである笏谷石を残したい。」「もう掘り出されなくなれば今までに掘り出されて使われている石を、形をかえてでも残せないか？」この時から、近藤さんはこつこつと既存の石を集めました。しかし、笏谷石は普通の石よりももろく、加工しようとする直ぐに崩れてしまいます。何度も試行錯誤を繰り返して十年余りが過ぎ、ようやく加工に成功、湯呑、おちょこ、大皿などの「ふくいブルー」が完成しました。



乾徳地区で春祭り

大型連休の最中、乾徳春祭りが開催されました。この祭りは、神明神社春祭りを祝うもので、今年5月4日に行なわれています。今年も、子ども神輿を先頭に、青空の下、9時に乾徳ふれあい会館を出発しました。途中、踊りを披露するなどして、約100人が元気に乾徳地区を巡行し



た。糊の利いた法被姿の子ども達と見守る家族の方々が春の日差しの中を歩きました。また、大人神輿も乾徳地区をはじめ、花月地区などを練り歩きました。



第25回ふれあいツアー 友田 和恵



6月4日さわやかな風が吹き抜ける好天の中、43名の参加者を乗せてバスは京都へ向かいました。まずは二条城に到着。出入り口の東大手門は丁度修復完成記念の特別公開中で立派な門を見上げながら入城。広い庭園をゆっくり散策しました。昼食場所の松菊園では舞妓さんの京舞が披露され、その後テーブル毎に19歳の加奈子さんが笑顔でカメラに応じたり、談笑したり、たっぷり祇園の気分になりました。真言宗智山派の総本山智積院では、軽妙な語りのお坊さんの案内で、有名な庭園や宝物館へ。国宝「楓園」「桜園」などは長谷川等伯の作とされ、惜しみなく金箔が施された大作に圧倒されました。帰りのバスではゲームやカラオケで賑やかに帰路につきました。



体育大会開催

堀ノ宮チーム優勝！

第39回日新区民体育大会が、5月21日の日曜日、高く晴れ上がった絶好の運動会日和のもと、日新小学校で開催されました。675人による入場式の後、午前9時過ぎから午後2時過ぎまで熱戦が繰り広げられました。結果は、堀ノ宮チームの優勝で幕を閉じました。また初夏を思わせる気候の中、熱戦が繰り広げられました。



福商 JETS の次の目標は？

5月2日に福井商業高校を訪れると、いつもは体育館が使えず廊下等での練習のチアダンス部 (JETS) が、他の部が遠征や試合で不在のため、解放された体育館全面を使って、のびのびと練習していました。



ご存知のように JETS は 2006 年に結成、3 年後の 2009 年に願い通り「全米：選手権のインターナショナルパフォーマンス部門」で優勝、また、2011 年から同部門で 5 連覇達成中です。顧問の五十嵐裕子先生は、「JETS」の名前は「高校在学の短い 3 年間にジェット機のごとく急発進し、急成長し世界に羽ばたいて欲しい願いを込めて名付けました。また、「明るく素直に美しく」「他人の話聞くこと」を部のモットーとしています。その結果、「映画のキャッチコピーのダンス経験のない普通の女の子が毎日、一生懸命練習する中で踊れるようになる」と話してくださいました。



部長の安野未彩さんは、今後の目標は JCDA (全日本チアダンス選手権大会) でグランプリをとることです。JCDA のグランプリはチアダンス部門・ポン部門・ヒップホップ部門・ジャズ部門の 4 部門高校生、大学生、社会人の全部門の中から 1 チームに与えられる賞であり、チアダンス 6 連覇よりも難しいと答えてくれました。

がんばれ JETS



これは何？



乾徳地区と春山地区の境目の交差点歩道上にあるこれは「下水道記念室」です。

「地下に埋められた下水道管を見ることができれば、下水道に対する理解を深め、普及促進に効果がある」と当時の熊谷太三郎市長の案で造られたものです。階段を降りると、地下室には大小の下水道管の接合部分を見ることができます。また、水道管、ガス管も見れます。外からカギが掛かっていますが、福井市に連絡すれば中に入り見学できます。



今年度は底喰川の清掃美化活動が主となります。

底喰川は日新地区シンボルとして、共通認識をもち河川敷を中心に道路を含め美化に努める。

- ① 3月から11月までの第4日曜日に日新地区区民による河川敷並びに公民館周辺の道路などの除草・清掃を実施します。
- ② 福井市が提供する「福井市を美しくする運動」に合わせ地区自治連合会と協賛し一斉清掃を実施致します。(7月,11月,3月)



- ③ 福井商業高校および藤島中学校の校外学習の一貫として清掃美化活動の参加。本年度は、底喰川河川敷の「ミソハギ」を広くPRするためのイベントを行います。その準備作業にも環境部会は協力致します。



平成22年にまちづくり交通部会が誕生し、目標に掲げていた日新地区のコミュニティバスの運行が今年の10月に本格運行のスタートが始まりました。このコミュニティバスがここまでこれたことは、日々の、皆様のご協力のおかげであり、誠に感謝いたしております。バス運行の目的は以下3点です。



- ① 超高齢化社会を控えた現在、高齢者、独居老人、身障者の方々への日常生活のフォロー (日新地区では75才以上は約780名、独居者と身障者の数は約300名)
- ② 地域内のコミュニティ化を高める (バス利用時に地域の方々とのふれあいを)
- ③ 地域内におけるイベント企画への参加意識を、集団でのお互いのモラル向上

次に今年度のさんさんバスの新企画の紹介

- ㊦ ミソハギ花まつり(7/30)の時に無料バス運行
- ㊧ 七夕映画会(昼食・コーヒーなど提供)
- ㊨ 映画会参加者の参加頻度における表彰
- ㊩ 県立美術館特別企画への参加促進(70才以上は常設展入館料無料)
- ㊪ 運転免許自主返納社の無料化
- ㊫ 佐野温泉日帰り利用(10月全館オープン予定) 「優しい安心」をモットーに笑顔の絶えないまちづくりを目指します



昨年までの広報部長勝木氏は多岐にわたり大変秀でておられましたが残念ながら諸事情により退任されました。お疲れさまでした。私は不慣れなものでなかなか思うように業務が進みません。是非、皆様のご協力をお願いします。今年の広報部は

- ① 「ゆめにしん」の年3回の発行(7/20、11/20、3/20)
- ② 講演会「落語教室」(8/19)
- ③ 街の文化人を探す 以上のことを重点に活動します

出演 瓢家萬月(ひさごやまんげつ)

本名：鳴尾健

現在、福井のラジオ、テレビ番組でパーソナリティーをしながら、福井県内外の高座にあがる。持ちネタは50以上



お知らせとお願い

来年、本県では第73回国体が50年ぶりの開催になります。正式競技(37)特別競技(1)公開競技(4)が予定されています。正式な選手は来年の6・7月の大会結果にて決定するそうですが、現在は国体強化選手になっていると思われます。そこで、「ゆめにしん」に強化選手を特集したいと思っております。日新地区で強化選手ご本人、また強化選手をご存知の方は公民館にお知らせください。